



表紙画 奥津國道氏 題字 松澤輝次先生



発行／向上高等学校同窓会
 こゆるぎ会
 〒259-1185
 神奈川県伊勢原市見附島411番地
 向上高等学校
 こゆるぎ会事務局
 TEL 0463-96-0411
 印刷／(株)横浜綜合写真
 TEL 045-472-2510

第1回ホームカミングデー開催

お待ちしております

「こゆるぎ祭」に本会コーナー

こゆるぎ会では、8月31日、9月1日に開催される「こゆるぎ祭」で、卒業アルバムや同窓会実施状況などを展示するコーナーを開設します。

卒業生の交流の場として活用していただきたいと考えております。また、向上高校の今を知っていただく機会になると思います。

多くの方にご来場いただければ幸いです。



ホームカミングデー実施の経緯を話す高倉会長

2018年9月2日に第1回ホームカミングデーを開催しました。今回は、湘北中学校(旧制・新制)・湘北高等学校卒業生の方と、向上高等学校の昭和44年度の卒業生までを対象とし、14名の卒業生と5名の先生が参加した。

※詳細記事は、3面に記載。

ご注意ください！振り込め詐欺

最近、本校の関係者を名乗った「振り込め詐欺」が多く起きています。

「進路を確認したい」や「卒業者の名簿を作成したい」、「関東大会の寄付を募ります」、など手口は様々です。本校では、一切そのような行為は行っておりませんので、ご注意いた

だきますようお願いいたします。そのほか、卒業生の個人情報を聞き出そうとする不審な電話がかかってくることもあります。

防止策として警視庁、神奈川県警から確認の電話がご自宅に入ることもありますので、その節はご協力ください。

事務局からのお願い

会員の皆様の住所等に変更があったときは、同窓会ホームページの「名簿データベース」の変更を各人でお願ひします。並行して事務局にも連絡を頂ければ幸いです。(題字下に連絡先)

こゆるぎ会に寄せる思い

卒業生が学校に来る機会を

会長 高倉孝元



同窓生の皆様には、同窓会へのご協力感謝いたします。今、母校向上高校は創立百周年を過ぎ、あらゆる面で発展期を迎えているように思います。施設面

では、百周年記念事業で既存の図書室の隣に自習室・グループ学習室を付設したスタディセンター。体育の授業や運動部の活動がしやすくなるように、運動場には人工芝を敷設。又、創立百周年を来年に迎え、念願であった野球場の建設も行っています。

これらの施設は、早朝や放課後、土日の講座やクラブ活動など、生徒に真剣に向き合う先生方の熱意があるから活きているのだと思います。先生方も教育の面で、いろいろな方法を取り入れ、より効果的な方法を絶えず考

えているそうです。母校はこのように、施設といえるものがなかった50年から確実に発展してきています。

こゆるぎ会(同窓会)も、形骸化していた組織を、しっかりとした組織にしようと、2007年10月、第1回「組織作りの会」から12年、初代会長の平井久先生のお力を得て現在に至っています。「卒業生のための同窓会」を念頭に、同窓会の会報の発行、ホームページの開設など、会員の交流が少しでも活発になるよう活動しています。昨年9月2日、学園祭開催中、第1回「ホームカミングデー」と銘打って同窓会を開きました。第1回目は湘北中学校(旧制・新制)、湘北高等学校、向上高等学校昭和44年度卒業生までを対象にご案内し、当時お世話になった恩師もご招待しました。

このように、卒業生が学校に来る機会、卒業生が交流できる機会を作っただけ作っていただければと思います。これからも、同窓会にご協力をお願いします。

新たな方法で「自学・自修・実践」を

理事長 山田貴久



少し古い話になりますが、昨年の9月2日、こゆるぎ祭の2日目に初の「ホームカミングデー」が開催されました。

こゆるぎ会役員のみなさんが、卒業生が再び学校に戻る機会をつくりたいと、私が校長を務めていた頃から時間をかけて温めてきた企画が実現したことをたいへん嬉しく思うとともに、運営に関わったみんなのご努力に心より敬意を表します。そして当日、参加された昭和44年度までの卒業生のみなさんや当時の先生方が楽しそうに昔話に花を咲かせる姿を見させていただき、学校が人生の故郷になりうる場所であることを再認識することができました。

向上高校は今、学校教育を取り巻く環境が大きく変わる中で、様々な取り組みを行っています。ICT教育やアクティブラーニングなど新しい教育方法の研究・実践や大学入試改革への対応。すでに終了したAグラウンドの人工芝化や皆様からご寄付などのご支援をいただきながら進めている新グラウンドの建設など教育施設の充実もその一つです。そのほか、以前から行ってきた奉仕活動や国際教育などに関しても、より充実した内容になるよう、新たな方法を模索して実践しています。

ただ、このような新しい取り組みの先にあるのは、学校を変えることではなく、建学以来引き継がれてきた「自学・自修・実践」の教育を、時代に合わせたかたちで実施できるようにすることです。すなわち、どのような時代になってもこの建学の精神を守ることが私たちの使命であり、それが在校生に学校を故郷にしてみらえることに繋がると考えております。今後このような目標に向かって精いっぱい努力してまいりますので、みな様の温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。

「向上生×卒業生×教員」夢を力に

校長 直理賀一



「あなたの夢、応援します」というキャッチフレーズで使用した「夢」は「可能性」という意味です。可能性は生徒全員が持っています。が、それを信じてチャレンジする

生徒は全員ではありません。そんな生徒に「一緒に頑張ろう」と声をかけ、チャレンジすることで、「自己肯定感」を持たせ、自分を信じることで、「自信」をつけ、成功だけでなく失敗や挫折も経験させ、「生きる力」を身につけていきます。このような夢を力にしてその力で自分の人生を切り拓いていく生徒の育成は、本校の前身である「自修学校」が創立した明治の時代から、大正、昭和、平成、そして令和へと脈々と受け継がれる教育理念です。今年度も443名のチャレンジ精神旺盛な新入生を迎えました。9割近くの生徒が部活動に入り、「学習と部活動の両立」を目指した高校生活をスタートさせました。

その後の関東大会でも2位という成績を収め、沖縄で行われる全国高校総体出場を決めました。文化部では、この夏には書道部、美術部、放送部、新聞委員会が全国総合文化祭佐賀大会に出場します。進学の面でも、4年生大学への現役進学率は72%となり、GMARCHをはじめとする難関校に多くの者が合格を果しました。これは、「夢」可能性を信じて努力する生徒を「応援」し、先生方が一緒になって頑張ってきた結果だといえます。現在本校では、ICT教育に力を注ぎ、来年度の新入生全員にタブレットを持たせ、授業をはじめ、行事等で使用するための準備を始めています。卒業生の皆さんと、現役の向上生たちが、お互いの活躍から元気をもらうことができる相乗効果のある学校にしていきたいと思

第1回ホームカミングデー 懐かしい面々と再開し弾む会話

2018年9月2日に「第1回ホームカミングデー」を向上高校1Fにあるアミックスで開催された。この行事は、卒業生の方々に現在の母校の様子を見て頂くとともに、同級生や先生方との交流の場を設け、思い出を振り返る同窓会の役割も兼ねています。こゆるぎ会の活動の活性化のため、試行錯誤をしながら今後も継続していく予定です。



今回招待されたのは、湘北中学校（旧制・新制）・湘北高等学校卒業生の方と向上高等学校の昭和44年度の卒業生の中から、連絡の帰ってきた14名。それに加え当時のことを知る浅野皓司先生・勝井直幸先生・清水秀樹先生・平井晃先生・藤井正先生の5名が招待された。

会は予定通り11時から開催され、初めに開会のことばをこゆるぎ会副会長の加藤洋武さんが務め、続いて直理賀一校長先生が歓迎の挨拶を述べた。



その後、懇談会へと移り、用意された食事や飲み物を手に旧友や先生方との歓談が活発に行われ、会話に華が咲き会場内は懐かしい思い出に溢れていた。

懇談会の最中に、山田貴久理事長と三谷幸久理事が合流し、希望

参加者で撮った集合写真（1枚目）
食事を取りながら先生たちと歓談（2枚目）
校内見学ツアーで部活動の賞状やトロフィーを前に山田理事長の説明を受ける参加者たち（3枚目）



者を対象に校内見学ツアーを実施。当日はこゆるぎ祭の当日ということもあり、校内展示やBグラウンドの模擬店などで活発に作業する在校生や楽しむ在校生の様子も見る事ができた。

ツアーでは、校内の生徒たちが日頃学ぶ教室や図書室やスタディルームなど施設を見学。こゆるぎ会が開設している展示コーナーにも足を運んでいただき、卒業アルバムなどを見て、会話を弾ませていた。

校外では人工芝になったAグラウンドや現在建設作業の進められている新設グラウンドの説明を受けた。

校内見学を終えた参加者は、先生方を含めて集合写真撮影をして解散となった。

解散後も送迎のバスを待つ間に卒業アルバムを見に来る方や校内を見学する方の姿が多くみられた。

第2回ホームカミングデー告知

2019年9月1日（日）に開催。招待の対象となるのは、昭和46年度から昭和52年度の卒業生。出席していただける先生方は、浅野皓司先生、清水秀樹先生、瀧石誠司先生、平井晃先生、松澤輝次先生、三谷幸久先生です。当日の流れは昨年度と同様だが、会場は自修館2Fの会議室を使用。

※先生方とお話をされたい方は、お気軽にお出でください。

こゆるぎ会 2018年度決算報告

自 2018年6月 1日
至 2019年5月31日

(単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	53,445,200	事業費	4,157,744
同窓会費	8,595,000	会議費	302,820
利息収入	795	HP・名簿管理費	228,438
		慶弔費	135,000
		交通費	4,000
		通信費	44,524
		雑費	16,502
		消耗品費	2,095
		備品費	270,432
		助成金	930,000
		野球場寄付金	1,400,000
		次年度繰越金	54,549,440
合計	62,040,995	合計	62,040,995

こゆるぎ会 2019年度予算(案)

自 2019年6月 1日
至 2020年5月31日

(単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	54,549,440	事業費	5,000,000
同窓会費	7,500,000	会議費	400,000
利息収入	600	HP・名簿管理費	340,000
		慶弔費	190,000
		交通費	30,000
		通信費	50,000
		雑費	30,000
		消耗品費	20,000
		備品費	270,000
		助成金	1,150,000
		次年度繰越金	54,570,040
合計	62,050,040	合計	62,050,040

※詳細は、こゆるぎ会事務局にて閲覧できます。

2018年度活動報告

4月 自修館中等教育学校入学式参列

向上高等学校入学式参列

向上高等学校新入生フィールドワーク支援(瑞雲寺訪問の案内)

2018年度代表者会

7月 野球応援(会場にて団扇配り)

8月 こゆるぎ会会報11号発行

9月 こゆるぎ会祭展示参加・第1回

12月 ホームカミングデー開催

「チャリティー・コンサート」

3月 「ありがとうもちつき大会」協力

4月 自修館中等教育学校卒業式参列

向上高等学校卒業式参列

2月に実施予定

※役員会は4月、5月、6月、8月、11月、2月に実施予定

2019年度活動計画

4月 自修館中等教育学校入学式参列

向上高等学校入学式参列

向上高等学校新入生フィールドワーク支援(瑞雲寺訪問の案内)

2019年度代表者会

6月 野球応援(会場にて団扇配り)

7月 こゆるぎ会会報12号発行

8月 こゆるぎ会祭展示参加・第2回

12月 ホームカミングデー開催

「チャリティー・コンサート」

3月 「ありがとうもちつき大会」協力

2月 自修館中等教育学校卒業式参列

2019年度代表者会
気軽に來れるイベントに

2019年度こゆるぎ会代表者会が、6月8日の13時30分から向上高校の会議室で行われた。

会は、始めに高倉会長からの挨拶、続いて直理賀一校長先生より学校の近況などが話された。議事は昭和45年度卒業の内藤文夫さんが議長に選出され、議事進行をおこなった。

議題は、役員会から提出された昨年度の活動報告・決算報告、今年度の活動計画案・予算案等、いずれも承認された。また、昨年度実施されたホームカミングデーの報告や今後の開催についての議論では、「誰でも気軽に來れるイベントにすること」や「各学年の代表者にも当日の協力を得ること」など様々な意見が飛び交った。



会長からの報告を聞く代表者たち

還暦の祝い・退職される先生 小島先生・奥脇先生



小島先生の還暦の祝い(上)、
H22年の優勝メンバーと奥脇
先生(下)

今年の3月に英語科の小島浩先生と地歴公民科の奥脇利光先生が定年退職を迎えた。小島先生は今後も英語科の講師として向上高校で教鞭をとられている。
小島先生は1986年に当時東野真先生が主任をされていた特進コースの担任に就任し、特進コース主任と進路指導主任を歴任した。

また、女子バスケットボール部の顧問をされていた時には、専門に指導できる人材として石井雅彦先生をコーチとしてスカウト。加えて、昨年度で25回を数える米国短期留学の立ち上げにも携わった。
奥脇先生は、着任から3年ほどで普通科の担任となり、日々授業に悪戦苦闘していた。
部活動では男女ソフトボール部の顧問を歴任され、ともにインターハイ出場を果たすという実績を残した。
小島先生、奥脇先生ともに熱意で走り抜き、学園に多大な貢献をされた。

本校野球部が第101回全国高校野球選手権神奈川県予選の準々決勝まで勝ち進んだ。
2014年以来、5年ぶりとなる全校応援は、在校生や野球部父母会、卒業生等の多くの観客が入り、大きな熱狂に包まれた。
結果は残念ながら7回コールド負けだったが、最終回の攻撃では先頭バッターからチャンステーマの「アゲアゲホイホイ」が流された。在校生や卒業生、三塁側の席にいた観客たちが一丸となり応援が行われた。
それに奮起した選手たちは、約20分にわたる猛攻を見せ、3点を返す意地を見せた。



客席が一体となって向上ナインを応援 (横浜スタジアム)

5年ぶりの全校応援

「こゆるぎ会」ホームページのご案内

<http://koyurugikai.com>



情報発信

- ・平成27年8月に、「こゆるぎ会」のホームページ(<http://koyurugikai.com>)がオープンして以来、多くの会員にアクセスしていただいております。
- ・ホームページでは、学校や同窓会などの情報をタイムリーに発信し、会員のコミュニケーションを推進しています。
- ・学校行事、ニュース、こゆるぎ会の活動、イベントのご案内、会合の議事録などを随時更新しています。



コミュニケーション

- ・各卒業年度の同窓会やクラブ活動OB/OGの集まりなど、会員相互の場のご案内をしています。同窓会などの開催を予定されている場合は、ホームページの「問い合わせ」からご一報ください。
- ・夏休み後に行われる「こゆるぎ祭」、年末のチャリティーコンサート、ありがとうもちつき大会など、卒業生も集うイベント情報を発信しています。



名簿データベース

- ・卒業生の名簿の管理については、インターネットを利用した「名簿データベース」を用意しています。会員ご自身の管理による、住所などの確認・登録・変更、情報の発信・閲覧についての公開範囲などの指定が可能です。
- ・利用に際しては、トップページ右上にある「名簿データベース」の赤いボタンから進み、登録内容の確認をしてください。ログインID・パスワードのお問い合わせなどは、名簿データベースの運用担当(koyurugikai@web-dousoukai.com)へご相談ください。

573人が学び舎から巣立つ



卒業証書を受け取る卒業生

卒業式前日にはバ
ルーンや輪飾り、アニ
メのキャラクターやク
ラスのメンバーの似顔
絵など、手の込んだ力
作の黒板アートが手
掛けられて晴れやかな
雰囲気教室が裝飾が
された。

3月7日、2018
年度の卒業式が行わ
れ、573人の卒業生
が本校を巣立った。
式は、卒業証書伝達
式と最後のHRの二部
形式で行われ、第一部

では、卒業生が一人ひとり登壇し、
卒業証書を受け取った。その後の
送辞や答辞の場面では、涙を流す
卒業生や保護者、先生の姿が見ら
れた。
卒業生とその保護者は各教室に
移動して「最後のHR」に参加し
た。この「最後のHR」は、高校
生活最後の思い出をつくるため
に、様々な企画や演出
を各クラスの実行委員
を中心に準備が進めら
れたものだ。

頑張る向上生

行事や式典 充実の内容で

443名が入学

2019年度の入学式が4月4日に体
育館で行われた。今年度の入学生は
443人。担任の先生から一人ひとり
名前を呼ばれ、ステージ袖から登壇。
新入生は緊張した表情を見せなが
ら、会場の保護者や在校生に挨拶、本
校での生活をスタートさせた。

式は、直理賀一校長先生や来賓の
方々の挨拶が行われ、新入生代表の誓
いの言葉が述べられた。その後、2年
生が「歓喜の歌」を合唱し、新入生を
温かく迎え入れた。そして、最後に全
員で校歌を歌い閉幕した。

式終了後には、新入生と保護者は「最
初のHR」に臨み、担任からクラス方
針などが語られたほか、校内各所で記
念撮影を行った。

1年生 今年も瑞雲寺に



瑞雲寺でご住職の話聞く1年生

4月11日に新入生443人がオリエンテー
ションの一環で、向上高校発祥の地である
曾我の瑞雲寺を訪問した。

発祥の地であることを示す石碑の説明を
先生方から聞いた後、本堂前で住職の大
井道範氏や本校の前身校である湘北高校
卒業の小川敏夫さんから当時のお話を聞い
た。その後、各クラスの代表者が創設者大
井龍跳先生の墓参を行った。

スポーツ大会

ユニフォームで走るクラブも



ユニフォームで走るクラブも

令和最初のスポーツ大会のテー
マは、「平成超越〜見せつけろ向
上プライド〜」。雨天のため実施

予定日を1日延期することとな
ったが、5月30日晴天のもと行わ
れ、最高の盛り上がりを見せた。
今年度より「応援合戦」から変
更された「クラブ対抗リレ
ー」。参加をするにあ
たって、運動部は原則
参加、文化部は任意で
参加となっている。参
加数は、女子13クラブ、
男子16クラブの計29ク
ラブが参加した。参加
クラブは、ユニフォーム
や自分のクラブをイメー
ジした衣装を着て、リレ
ーに挑むクラブも見られた。
午前中の競技は5種目。「ハ

ハ



クラス一丸となった背渡り競争

リレー」では竹が折れたり、「障
害物リレー」で競技順の間違いで
やり直しになったりとトラブルは
あったが、激しい戦いが繰り上げ
られた。
午後には、「100m走」や「玉
入れ」、「尻尾取り」などの6種目
が行われ、激戦が繰り上げられた。

2018年度 進路状況

四大進学者が72% ~努力の結果が進路に~

2018年度の進路状況は、現役生では72%が四年制大学、5%が短期大学、14%が専門学校、2%が就職でした。卒業生も含めた主な四大進学先は次の通り。

卒業生の進路状況(4年制大学)

Table with 3 columns: 国公立大学, 合格者数 (現役, 既卒), 計. Lists various universities like 東京海洋大学, 東京農工大学, etc.

Table with 3 columns: 早慶上管理科, 合格者数 (現役, 既卒), 計. Lists universities like 早稲田大学, 上智大学, 東京理科大学, etc.

Table with 3 columns: 私立大学, 合格者数 (現役, 既卒), 計. Lists private universities like 湘南医療大学, 湘南工科大学, 上武大学, etc.

Summary table for 国公立大学, 私立大学, and 4年制大学 with columns for 現役, 既卒, 計.

専修大学合格 平田明美さん 仲間と切磋琢磨



私は向上高校での3年間、本当に充実した時間を過ごすことができました。

学習面ではスタディセンターの自習室をうまく活用し、定期考査前には友達と問題を出し合い、楽しみながら勉強するのが私流のやり方でした。その甲斐があつて志望大学への進学も、推薦入試で決めることができました。私が所属していたソフトテニス部は、どこにも負けない練習量と、仲間と切磋琢磨し合う練習の質に誇りを持ち活動していました。技術面以外にも、相手への気遣いや礼儀の大切さなど多くのことを学ぶことができました。大学では会計学を学び、目標とする国家資格取得を目指して毎日必死に勉強しています。充実した高校生活のおかげで、今も前向きな大学生活を送ることができています。

説明会の日程

学校説明会

8月1日(木)、8月31日(土)

9月1日(日)

※8月31日、9月1日は、こゆるぎ祭(文化祭)の中での実施となります。

入試説明会

10月5日(土)

11月3日(祝・日)

11月16日(土)

11月23日(祝・土)

11月30日(土)

平日説明会

12月3日(火)・4日(水)・5日(木)・6日(金)

※8月31日・9月1日以外は、本校Webサイトから事前予約してください。

昨年度は222冊を助成



図書室に設置されているこゆるぎ会の補助で購入された本のコーナー

こゆるぎ会では、生徒の読書活動推進のため、図書費の補助を続けている。購入は図書委員が実際に本屋に赴き、本を手にとり確認してから行うスタイルで、昨年度は222冊の本の購入に充てられた。

度の新入生より一人一台iPadを所持することになる。朝の読書とともに連動させ、電子図書館(*)の運営もますます拡大していく予定だ。デジタルでもアナログでも「読みたい本が借りられる」図書室運営のために助成を続けられたらと思う。*電子図書館は向上高校HPから覗くことができる。

プロフィール

生年月日：昭和52年10月21日

出身：神奈川県相模原市

性格：おとなしい性格

趣味：映画鑑賞

経歴：

1996年：向上高校卒業

日本体育大学入学

2000年：ALSOK入社

2012年：ドイツナショナルコーチ

就任

2014年：オリンピックの

ナショナルアシスタントコーチ

就任

<主な戦績>

オリンピック：シドニー大会 8位入賞

アテネ大会 5位入賞

北京大会 10位

世界選手権：7回出場

2007年 銀メダル

アジア大会：2回出場

2002年 銅メダル

2010年 金メダル

日本選手権：2000年から8連覇

同窓生紹介 笹本睦さん シドニー・アテネ・北京 オリンピック出場

目標はメダリストを育てること

今号では、1996年卒業の笹本睦さんを紹介する。在学当時はレスリング部に所属し日々厳しい練習に励んだ。卒業後は、シドニー・アテネ・北京五輪の3大会に出場し、現役引退後も後進の指導をしている。



世界1位を経験した選手の指導をする笹本さん

Q レスリングはいつから始めていましたか？
A 最初は3歳の時に親に連れていかれたのがきっかけで1度は辞めました。が、中学3年生の夏から本格的に始めました。

Q 向上高校に入学した理由は？
A 高校の恩師に誘われたからです。

Q 学校生活で印象に残っていることは？
A レスリング部の活動です。朝から夜まで厳しい練習だった印象があります。自分には何が

足りないかを考えて練習を工夫したり、自分より強い選手と毎日練習することを意識して勝つまで練習したり、大会や合宿では、たくさんの選手と出会う友達になるなどとレスリングの思い出が多いです。

Q ALSOKに入社することになったきっかけは？
A 当時、プロとしてレスリングをする環境が少なく、ALSOKが自分にとって強くなる環境を作ってくれたからです。

Q 部活動や学校生活が役立った経験は？
A コーチになるきっかけは？
A オリンピックでメダルが取れなかったことで、自分がコーチした選手でオリンピックメダリストを育てたいと思ったからです。

Q コーチになるきっかけは？
A シドニーオリンピックです。初めて出た国際大会で、負けた際にもっと強くなりたいと思った大会だったからです。

Q 現役時代の一番印象に残っている大会は？
A シドニーオリンピックです。初めて出た国際大会で、負けた際にもっと強くなりたいと思った大会だったからです。

Q コーチになるきっかけは？
A オリンピックでメダルが取れなかったことで、自分がコーチした選手でオリンピックメダリストを育てたいと思ったからです。

Q 今後、レスリングの活動で夢や目標がありましたら教えてください。
A 私はグレコローマンスタイルを教えているのですが、日本ではフリースタイル女子レスリングが有名なので、グレコローマンを有名にすることが目標です。

Q コーチのお仕事の苦労は？
A 選手一人ひとり個性があるので、合わせるのが大変です。また大会前には、体重調整があるので、体重とコンディショニングの両方を気に掛かっています。

こゆるぎ会では卒業生が気軽に学校に来れるようにホームカミングデーを開催しています。まだまだ改善する点は多くありますが、今後も継続して行うことでより良いイベントにしていくとともに、会の活性化や認知度を上げて、活動に興味を持っていただけるように邁進していきます。

編集後記

(佐藤)